

地域資源を活用して生き残る

株式会社 島田工務店 奈良県高市郡明日香村

日本の原風景が残るといわれる明日香村で、飛鳥の棚田や飛鳥歴史公園を背景に、歴史だけではなく、農業体験や生活文化・食文化など農村の魅力も深く楽しめる体験プログラムが立ち上げられる。このプログラムを考案したのは、同地を中心に奈良県内で住宅の設計・施工・リフォーム等を手掛ける株式会社島田工務店である。



日本の原風景が残る「飛鳥の棚田」

同社は、本格木造軸組の「伝統住宅」や、無垢材とできるだけ自然素材を使用した「健康住宅」などの設計・施工を得意とし、地域の景観を守りつつ、住民に快適な住宅環境を提供してきた。ところが、明日香村周辺では、少子高齢化、過疎化、長引く景気の低迷などの影響を受けて、同社の手掛けるマーケットは年々縮小傾向にある。対象となる顧客やニーズが減少しているなかでは、いくら付加価値の高いものを顧客に提供しても売上げは伸びない。

そこで同社の島田社長が考えたのは、明日香村の持つ地域資源を磨いて都市住民に明日香村の魅力を知ってもらい、明日香村を「訪れてよし、住んでよしの村」にすることだった。

明日香村には、稲渚地区の棚田をはじめ良質な農産物が収穫できる農地とそれを守ってきた里山の人々の暮らしや生活の知恵、ものづくりの技、文化などが残っている。これらのかけがえのない自然環境や歴史的文化的資産を守り育て、都市住

民に農村体験プログラムを提供する。そうすることで、村に訪れる人が増えれば、飲食店や宿泊施設などの増改築需要が見込める。村に魅力を感じて移住する人が増えれば、新築需要や村内で増加する空家の改修にもつながる。あくまでも村の活性化が第一義だが、それが自社のビジネスの生き残りにもつながる。島田社長の考えは、いわば「急がば回れ」の作戦である。

同社の計画は経済産業省から地域産業資源活用事業計画として、本年2月に認定を受けたばかり。2014年まで5年がかりで体制整備や市場調査、PR等を行いながら本格的なビジネスへと立ち上げていく。今後、農業体験や生活文化体験、自然観察など、明日香村の特徴を活かした体験交流プログラムを30種類以上開発し、田舎志向の中高齢から「自然とのふれあい体験」「食育」を望む親子連れや教育旅行まで、幅広いターゲットを対象とした「農と明日香村に癒される旅行商品」として提供する。そのために旅行業の資格を2年目までに取得し、同社が総合コーディネート窓口として、旅行者、旅行代理店、交通機関、宿泊施設、見学施設などとの間でワンストップサービスを行うしくみづくりに取り組んでいく予定だ。

(井阪 英夫)



棚田での農業体験風景



泊まり込みで学習する「飛鳥帰農塾」も計画されている

株式会社 島田工務店

〒634-0108 奈良県高市郡明日香村雷 366-3
TEL : 0120-77-0688 FAX : 0744-54-2627
URL : <http://www.shimada-c.com/>